



# JPI催しのご案内

2012  
6

公益社団法人日本包装技術協会

## 開催要領

**会場** 公益社団法人日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F  
**日時** 平成24年6月29日(金) [第1部]13:15~15:00 [第2部]15:15~17:00  
**参加費** JPI法人・個人会員:無料 / 一般:3,150円(1部会、税込)

### 第1部 第190回包装ラインシステム化研究会

13:15~15:00

#### 【テーマ】異物検出装置の最新動向

昨今では、食の生産・加工・流通のグローバル化に伴い、消費者・企業の双方にとって、安全・安心がより一層重要となっている。この10年間でX線異物検出装置の導入が進む一方、食品向けの検査に求められる内容もますます多様化している。

本講演では、X線異物検出装置の説明を皮切りに、デュアルエナジー方式による新たな異物検出法や、異物検出以外のアプリケーションなど、具体的な事例を交えて、異物検査の現状を紹介する。また最新の技術動向を交え、異物混入対策の展望についても紹介する予定である。

1. 異物混入対策としての検査装置
2. X線異物検出装置の原理と機能
3. 異物を自動検知することの難しさ~デュアルエナジー方式の提案
4. 総合的な検査装置として、ますます広がる利用法
5. 異物混入検査装置の技術動向と展望

【講師】株式会社 イシダ 産機技術部 開発二課 第二係 係長

栖原 一 浩 氏

【コーディネーター】大日本印刷(株) 包装事業部 開発本部 開発第2部  
森永商事(株) 品質保証部 部長 包装管理士

菰田 誠一郎 氏  
平井 純一 氏

### 第2部 第191回包装ラインシステム化研究会

15:15~17:00

#### 【テーマ】組合せ計量機の最新動向

組合せ計量機は定量包装に不可欠な計量機として、全国で7,000台程度が稼働していると見られる。1970年代に誕生し、進歩を重ねてきた組合せ計量機の最新動向として、国内市場を中心とした市場動向と計量機メーカーの対応、そしてハカリとしての法的規制の動きについて紹介する。

1. 計量包装の市場動向と計量機メーカーの対応
  - 1) 小容量化・小袋化に伴う高能力化  
健康志向の高まりとともに、世界的に包装商品の小容量化・小袋化傾向が続く。加工工程の能力に合わせて、下流の計量・包装工程は必然的に高能力化が求められる。
  - 2) ミックス/アソート商品の品質向上  
消費者要求の高度化や商品企画上の多様性追求を背景として、ミックス/アソート商品においてプレミックスから品種毎計量へ、という動きがある。
2. 組合せ計量機に関するレギュレーション
  - 1) ミニマムシステムとアベレージシステム  
計量包装商品の量目管理規制として、日本や米国で採用されているミニマムシステムと、EUで一般的なアベレージシステムとは大きな違いがある。
  - 2) OIMLの動向と日本における自動ハカリの法的規制  
日本の計量法では、「自動ハカリ」は規制の対象外となっているが、OIMLをはじめ、世界的には規制対象とする動きが進んでおり、産総研も対応を検討中である。

【講師】大和製衡株式会社 自動機器事業部 副事業部長

小笠原 和 行 氏

【コーディネーター】(株)川島製作所 生産管理本部 技術部 部長  
(株)日清製粉グループ本社 技術本部 生産技術研究所 包装研究室 主任研究員 包装管理士

伊早坂 嗣 氏  
浅井 信 孝 氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

## 6月研究会参加申込書

研究会に参加を希望される場合には、下記申込書にご記入のうえ、本紙をFAXして下さい。(FAX番号 03-3543-8970)

法人会員 ・ 個人会員 ・ 一般		いずれかに必ず○を付けて下さい	
会社名		TEL	
所在地	(〒 )	FAX	
参加者	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部

## 6月見学会 第271回月例見学会

【見学先】クノール食品(株) 川崎事業所 川崎市高津区下野毛2-12-1  
 【日 時】平成24年6月22日(金)13:30~15:00  
 【定 員】40名  
 【集合場所】検討中(参加証発送時にご案内致します)  
 【参加費】JPI会員の方 無料/一般の方 1名につき2,100円  
 【見学先の概要】見学当日は、①会社概要説明及びPRビデオの鑑賞、②イン  
 スタントスープの製造・包装工程の見学、③試食、④質疑応答を行う予定です。  
 \*予定を変更させて頂く場合がございます。

★お申し込みはファクシミリによる先着順受付とさせていただきます。  
 ★お申し込み方法は紙面に第271回見学会参加希望とご記入の上、会社名、所在地(〒)、参加者名、所属役職、電話番号、FAX番号をご記入下さい(記入漏れがある場合、無効となりますのでご注意ください)。  
 ★参加証の発送をもって、申し込み受付に替えさせていただきます。参加証は開催日一週間前に発行いたします。  
 ★同業他社の方のお申し込みの場合、受け入れ出来ない場合があります。

見学会のお申し込み並びにお願い(毎回規程が変わりますので必ずご確認ください)

## 第50回全日本包装技術研究大会【東京大会】

～発表者募集のご案内～

(公社)日本包装技術協会では毎年1回、全国の会員を対象に包装技術の研鑽と交流を目的とした全日本包装技術研究大会を開催し関係各位より高い評価を頂いております。本大会は本年で50回目を迎え、会場を幕張メッセ国際会議場に移し、節目の大会として盛大に開催する予定です。貴社におかれましてもこの機会を有効にご利用頂きたく、奮ってご参加下さいませようご案内申し上げます。

### ☆☆☆☆☆ 発表者募集要領 ☆☆☆☆☆

【発表内容】 1件あたり30分間(25分発表、5分質疑)  
 【募集件数】 75件 \*定員になり次第締め切ります  
 【申込期間】 平成24年8月31日(金)まで  
 【発表料金】 無料 \*記念品を贈呈します  
 【優秀選定】 発表者の中から、特に充実した発表をされた方を対象に優秀発表者を選定します

### ☆☆☆☆☆ 発表内容 ☆☆☆☆☆

包装又は包装資材に関する研究/新技術・新システム・新素材の紹介/廃棄・リサイクルの容易性/包装の現場における改善・合理化の事例/省力・省資源・コスト低減の事例など

### ☆☆☆☆☆ 発表部会 ☆☆☆☆☆

①包装資材部会 ②包装ラインシステム化部会 ③食品包装部会 ④生活者包装部会  
 ⑤医薬品包装部会 ⑥化粧品包装部会 ⑦輸送包装部会 ⑧電気機器包装部会  
 ⑨環境包装部会 ⑩パッケージデザイン部会

◆お申込及びお問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 全日本包装技術研究大会係 担当:小橋 TEL:03-3543-1189 FAX:03-3543-8970 e-mail:kobashi@jpi.or.jp

## 2012東京国際包装展

2012年10月2日(火)～5日(金)東京ビッグサイト 東ホール全館

## TOKYO PACK 2012

TOKYO INTERNATIONAL PACKAGING EXHIBITION 2012  
<http://www.tokyo-pack.jp>

名 称	2012東京国際包装展 -TOKYO PACK 2012-
会 期	2012年10月2日(火)～5日(金)の4日間 10:00～17:00
会 場	東京ビッグサイト(東京国際展示場)東ホール全館
主 催	公益社団法人日本包装技術協会(JPI)
目 的	包装資材、包装機械から包材加工機械、食品機械、関連機器類、環境対応機材、物流機器類に至り生産・包装・流通の技術振興をはかるとともに、商談や交流及び包装の最新情報発信の場として、国際的な視野に立った社会の発展に資することを目的とする。
後 援	経済産業省/外務省/国土交通省/農林水産省/環境省/防衛省/東京都/日本商工会議所/日本貿易振興機構/日本生産性本部/アジア生産性機構/世界包装機構/アジア包装連盟/日本包装機械工業会/日本マテリアル・ハンドリング(MH)協会/東京ビッグサイト
協 賛	包装関連約100団体
併催事業	包装力向上パビリオン 他

◆お申込及びお問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 2012東京国際包装展事務局 TEL:03-3543-1189 e-mail:t-pack@jpi.or.jp

## 包装力向上パビリオン

～参加者募集のご案内～

## 【TOKYO PACK 2012 併催事業】

2012年10月2日(火)～5日(金)/東京ビッグサイト

### 【包装力向上パビリオンとは】

TOKYO PACK 2012(東京国際包装展2012)の併催事業として開催致します「包装力向上パビリオン」では、6つの分野にフォーカスした集中展示を行い、出展者と来場者の「繋がる」をサポート致します。本パビリオンへの参加を通じ、業界ごとのユーザー(明確な目的を有した来場者)との交流が更に深まると共に、ユーザーにとって効率的で視察しやすい環境を整え、新たなビジネス創造の機会を提供いたします。

**参加料金** ①TOKYO PACK出展者 1スペース/52,000円 ②一般 1スペース/189,000円 (税込、間口2m×奥行2m)

**募集内容** ①食品・飲料包装パビリオン ②医薬品包装パビリオン ③化粧品・トイレットリー包装パビリオン  
 ④日用品・雑貨包装パビリオン ⑤輸送包装パビリオン ⑥流通・小売包装パビリオン  
 \*各パビリオンの募集定数は20社までとさせていただきます

**申込期間** 平成24年6月15日(金)必着 \*申込み後の参加取り消しは、原則として認められません

**その他** ①基本パッケージ(1スペース 間口約2m×奥行約2m×高さ約2.1m=約4㎡/壁面システムパネル、社名板、L型展示台、スポットライト2灯、100V電源コンセント1箇所(0.5kw)、一次側電機幹線工事費1kw)  
 ②本展各種情報媒体(Webサイト、来場案内状)

◆お申込及びお問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 包装力向上パビリオン係 TEL:03-3543-1189 e-mail:t-pack@jpi.or.jp

### 【個人情報の取扱いについて】

1. 個人情報は「(公社)日本包装技術協会 月例研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り、配布する場合があります。

2. 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

### ◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F  
 公益社団法人日本包装技術協会 担当:小橋 TEL:03-3543-1189 FAX:03-3543-8970  
 ●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <http://www.jpi.or.jp>